

※1枚ずつお取りください。

# 川上校区 第132号 公民館だより

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775  
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp

令和5年(2023年)2月



川上の雪景色(過年)

佐賀市の人口 229,445人 川上校区の人口 5,731人 川上校区の世帯数 2,203世帯【令和4年12月末現在】

川上校区公民館からのお知らせ  
佐賀市のwebサイト「つながる川上」

まちづくり協議会で実施している活動、  
校区の行事、公民館講座など、生活に役立つ  
便利で楽しい情報を掲載しています。

「つながる川上」



公民館のご利用について

皆さんの生涯学習やサークル活動、地域コミュニティ活動の場として、どなたでも部屋のご利用ができます。  
(※営利活動等は除く)

「公民館予約システム」  
自宅からでも



## 公民館主催・共催講座の報告

### 「興津早生・青島」オーナーの皆さんが家族連れで みかんの収穫を楽しみました

今年度で2回目となる「みかんの木オーナー制度」、11月から12月の収穫時期を向かえた土・日曜日には、家族連れ、友人同士で収穫を楽しめました。子どもたちは、もぎたてのみかんをほおぼり、木に登ったり樹園地内をはしゃぎ回ったりで、川上の自然を楽しんでいました。オーナーさんの中には、家族で体験出来たことがとても良かった。また、来年も是非参加したいとおっしゃっていました。

【12月3日(土)・4日(日) 公民館・まち協共催】



両日とも少し肌寒い日でしたが、家族連れで初めての収穫を体験する家族

### 「正月のいけばなアレンジ」教室を開催しました

草月流の松尾朱華先生による「正月いけばなアレンジ教室」を開催しました。お正月におめでたい“松竹梅”竹の花器に松、梅をイメージしたエピデンドラム、千両、葉牡丹、バラ、LAユリ、着色雲竜柳など7種類の花材を思い思いに自由な発想で活けられました。最後に先生から一人一人の作品に感想を頂きました。お花を通して季節を感じる喜びを味わっていただき、華やかなお正月を迎えられたことと思います。【12月24日(土) 参加者10名 公民館主催】



先生から基本を教わりながら思い思いに活けました

先生から感想を頂きました

お家で飾ってお正月を

※詳細については、川上校区公民館(Tel 62-5775)に問い合わせください。

## 「佐賀豪雨被害と復興に向けた取組み」 日頃の備えと自助・共助の大切さについて防災講話を開催しました

令和3年8月の佐賀豪雨で甚大な被害を受けた大町町、その当時の様子について、大町町の職員の方から貴重なお話を聞くことができました。凄まじい雨量による町南部の浸水被害や高齢者の避難、ボランティア活動など復旧に向けた取組みについて、話を伺うことができました。

また、地域イベントやお祭りが盛んな所は、コミュニティが形成され地域力につながっていくそうです。お互い様の育みが本当に大事であるということでした。地形的にも川上校区と大町町は、類似していることから、いつどこで起きてもおかしくない自然災害に対して、日頃の備えが大事であることを感じた講話でした。

【12月8日（木）参加者58名 自主防災会（単位自治会）まち協・公民館共催】



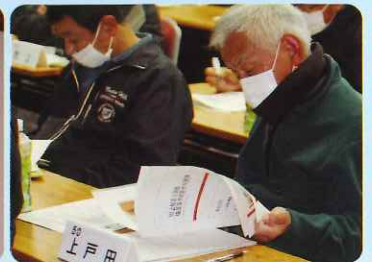
加藤自主防災会本部長の挨拶



大町町職員の土井氏によるお話し



地域おこし協力隊の公門氏によるお話し



自治会長の皆さん他熱心に聴講しました

## ★★★★★ 今が旬・川上の地域ニュース ★★★★★

### 今年2回目の子どもへのまなざし街頭活動を行いました

佐賀市一斉“子どもへのまなざし”街頭活動を川上小児童の下校時間帯に合わせ、子どもたちの安全を願っての交通指導、また、あいさつ運動を通して子どもたちが安心、かつ健やかに育つ環境づくりのための街頭活動を行いました。この活動は、佐賀市内32校区が一斉に地域の各種団体と連携し、夏、秋の年2回行っています。【取材日：11月9日（水）青少年育成大和町民会議（川上の各団体による構成）】



### 川上小学校で手作りの夢学級が開催されました

コロナ禍の中で休止されていた夢学級が3年振りに開催されました。子どもたちに体験を通して楽しんでもらおうと、手作りの夢学級を開催することができたとのことです。8月のカヌー体験に続き今回第2弾として、「川上つ子祭り in 川上小」を3～6年生対象に7種類の遊びが準備されていました。江原PTA会長によるリモートでの開校式後に、子どもたちは種類毎にそれぞれの会場で遊びを楽しんでいました。最後は、各教室に戻りお菓子と景品を先生から受取り学校を後にしました。

【取材日：11月27日（日）児童数210名 子育て部会・PTA・川上小】



江原PTA会長によるリモートでの開校式



キャップ積み



バドミントン



サッカー

## 贅を尽くしたお正月料理（おせちと雑煮）教室が開催されました

川上校区自治会女性部（野口直子部長）主催でお正月料理教室が開催されました。伝統的なおせちの一つ一つの意味、お重の1段目、2段目、3段目に詰めるおせちとレシピの説明がありました。皆さんで調理を分担し、味も見栄えも良い豪華なおせちが3時間ほどで出来上がりました。お正月には、レシピを参考に御家庭で再度挑戦されたのではと思います。おせちを囲み、一つ一つの意味を話題にしながらいただかれたのではないのでしょうか。【12月9日（金）参加者13名 自治会女性部主催 ※他食改協よりサポート5名】



調理の方法の説明です



分担して料理に取掛りました



おせちが出来上がりました



最後に皆さんで集合写真

## 自主サークル・年間定期利用団体説明会と併せて 年末の大掃除をしていただきました

12月22日（木）令和5年度公民館定期利用団体説明会終了後に、参加者全員（29名）で公民館の大掃除をしていただきました。各サークル団体、自治会長会、自治会女性部、まち協の皆さん有難うございました。おかげさまで公民館の内外が綺麗になり、新年を気持ち良く迎えることができました。



年間利用団体への説明会



全室の机・椅子の脚まで消毒



洗剤を使ってスリッパの裏側まで



タイルの水洗いからクモの巣の除去

## かわかみ「絆の会」絆（きずな）号が毎日元気に走っています

高齢者送迎サービス「かわかみ絆の会」絆号の運行を取材してきました。高齢者の通院や買い物、社会参加のために平成27年に立上げられてから7年が経過しました。かわかみ絆の会は、地域はもとより県内外からも広く認知されるようになりました。現在は、毎月400件を超える利用者で、地域唯一高齢者の交通手段となっています。また、絆号での送迎は高齢者の閉じこもりを少なくし、コミュニケーションの場を提供する支えにもなっています。【取材日：令和4年12月2日（金）】



川上公民館で毎週カラオケを楽しむために利用されています



町内の医院にお迎えです



帰りは農協に立ち寄りしました

## みかん作り一筋55年松崎逸夫さんの柑橘「津之輝」

20アールのハウスの中で大切に育てられたみかん「津之輝」の収穫が最盛期を向かえていました。15年生の「津之輝」は、果皮は艶があり濃い橙色で赤みがかっています。味が濃厚でジューシーな香りがすることでジュースなどにも適しているとのこと。糖度13度以上になると紅姫というブランド名で関東、長野、新潟地方に、主に贈答品として販売されるそうです。果皮が薄く果汁の密度が高くなることで、弾けない（果実が割れない）ように管理するのが大変難しいとのことでした。

【取材日：令和4年12月1日（木）】



松崎さんは果物を作るのが大好きで柑橘系のほかにもスモモなどを作られているそうです

## いちごさん（池上地区の石田洋文さん）の収穫と出荷作業

「いちごさん」は2018年秋にデビューした新しいいちご。佐賀県では「さがほのか」以来20年ぶりの新ブランドだそうです。今回、池上地区で栽培されている石田洋文さんのいちごハウスでの収穫作業と出荷の様子を取材してきました。ハウスの中では、甘い香りが漂っていました。ブランドの「いちごさん」を作って4年になり、以前の「さがほのか」と違い、育てるのが大変難しいということでした。

「いちごさん」は、赤が濃く色鮮やかで、果汁のやさしい甘さと、酸味のバランスがとれた美味しさが特徴だそうです。関東、関西、九州一円へ5月頃まで出荷されます。

【取材日：令和4年12月1日（木）・5日（月）】



ハウスの中での収穫作業

収穫の出番を待っています

収穫した「いちごさん」をパック詰めにして出荷します

## “にじゅうまる”（水上地区の平野稔邦さん）の収穫が始まっています

佐賀県の新ブランドとして、令和3年2月にデビューした柑橘「にじゅうまる」。川上水上地区の平野稔邦さんが大切に育ててきた「にじゅうまる」（18アール）の収穫が年明け早々に始まっています。今年で3年目の収穫となった「にじゅうまる」は、食べごたえのある大きさと、香りと食感、そして上品な甘みとよいバランスのとれた美味しさは、どれをとっても「二重丸」。平野さんのお話しでは、他の柑橘と違って実が大きくて枝が細く折れやすいことで、なり始めから繰り返し枝釣りをしなくてはならないということでした。このように手塩をかけ育てた「にじゅうまる」は、3月の初めから基準を満たしたもののだけが、ブランド品として、主に東京、大阪へ販売されるそうです。

【取材日：令和5年1月5日（水）】



県内のモデル園として3年目の収穫となった“にじゅうまる”一つ一つ丁寧に収穫されました